

にらさき

| | |
|---------------------|-----|
| 第1回定例会 (3月) | P 2 |
| 第1回臨時会 (5月) | P 5 |
| 委員会活動報告 | P 5 |
| ここが聞きたい(代表・一般質問) .. | P 6 |



甲州軍団「火の2番隊」甘利備前守虎泰隊

大将 森本由美子議長と御勅使工業団地工業会39名の皆さん

4月9日(土)、JR韮崎駅前広場で虎泰隊の出陣式が行われ、大勢の皆さんが見守る中で盛会に開催されました。今年も韮崎工業高校太鼓部の皆さんに気持ちのこもった演奏をいただき、会場の皆さんから大きな拍手が送られました。

会場も盛り上がっているところに、観音山公園から出陣を告げるのろしが上がり、虎泰隊は信玄公が待つ甲府舞鶴城本陣へ出陣しました。



いざ出陣!!



韮崎工業高校太鼓部の皆さんの演奏

平成28年度

当初予算総額259億1,996万7千円

内訳

- 一般会計 …………… 138億2,100万円
- 特別会計(13会計) ……… 77億9,565万5千円
- 企業会計(2会計) ……… 43億 331万2千円

第1回定例会(3月)は、2月25日から3月16日までの21日間で開催しました。

前年度当初予算額に比べ、5.7%の増となった一般会計当初予算額138億2,100万円をはじめ、特別会計、企業会計に係る各会計の当初予算や条例の制定、改正、人事案件等、議案49件、請願2件を審議しました。3月16日の議案審議では議案第12号及び第13号、並びに請願第28-1号及び第28-2号の4件については、採決の前にそれぞれ賛成の立場、反対の立場から議員が討論を行いました。

審議した条例等及び採決の結果は、4頁の「平成28年第1回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

なお、平成28年度の当初予算と主要事業につきましては、広報にらさき4月号の巻頭に特集記事が掲載されていますのでご覧ください。

【議員の発議によって次の2つの案件を提出】

■ 議会会議規則の一部を改正する規則〔議第1号〕

議員は事故のため出席できないときは、当日の開議時刻までに議長、委員長に届け出ることとされています。男女共同参画及び若者の議会参加を考慮した議会活動を促進するため、議員の出産及び配偶者の出産のため、本会議、委員会へ出席できないときの欠席の届け出を提出できる規定を加えました。

■ 特別委員会の設置について〔議第2号〕

市立保育園の再編や今後の運営のあり方については、本市の保育環境の整備に関わる重要な案件であるため、保護者や地域の意向を聴取し、調査、研究を行う必要があるため特別委員会を設置しました。

□ 委員会の名称：今後の保育園再編整備に関する調査特別委員会

□ 委員会の定数：9名(委員会の構成は次のとおり)

委員長 一木 長博

副委員長 田原 一孝

委員 木内 吉英

委員 奥石 賢一

委員 内藤 正之

委員 守屋 久

委員 宮川 文憲

委員 森本由美子

委員 小林恵理子

【主な条例の一部改正等】

■ 職員の降給に関する条例

地方公務員法に基づき、条例で定める給料表の適用を受ける職員で、職員の意に反する降給に関して必要な事項を定めたものです。

降給の種類は、職務の級を同一の給料表の下位の職務の級に変更する降格と、号級を同一の職務の級の下位の号級に変更する降号があります。該当となる事由には、指導等に関わらず、なお勤務実績のよくない状態が改善されず、相応の職務を遂行することが困難と認められるときなどがあります。

・ 施行：平成28年4月1日

■重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例〔議案第35号〕

重度心身障がい児の医療機関等の窓口での支払いは、一旦お支払いいただき、申請によって助成（償還払い方式）することとしていましたが、平成28年4月から子ども医療費の助成と同じ年齢までを対象として、医療費の窓口無料化を実施するのに伴い所要の改正を行いました。

- ・施行：平成28年4月1日

■公の施設の指定管理者の指定について〔議案第42号〕

市文化ホールの指定管理者について全員一致で可決しました。

- ・名称：一般財団法人 武田の里文化振興協会
- ・所在地：韮崎市藤井町坂井205番地
- ・指定の期間：平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

なお、市では平成29年4月以降の指定管理は、指定管理者の選定に係る原則から公募による選定を想定しています。

■負担付寄附の受納について〔議案第43号〕

韮崎大村美術館収蔵庫の増築費及び当該施設を建設する土地の購入に充てることとし、美術館開館10周年に合わせ完成させるものです。

- ・寄附額：90,000,000円
- ・寄附者：大村 智氏（東京都）

【人事】

■人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて〔議案第44号から48号〕

人権擁護委員5名の任期が平成28年6月30日満了となるため、その再任者、後任者の推薦について市長から議会の意見を求める提案がされ、次の方々の推薦に同意しました。

森 きよ子氏（穴山町） 廣島 民雄氏（若宮） 志村 正樹氏（藤井町）
向山 正俊氏（本町） 田中 慶子氏（富士見）

■青木御座石財産区管理委員会委員の選任について〔議案第49号〕

青木御座石財産区管理委員会委員の任期が平成28年3月31日満了となるため、新たな委員の選任について市長から議会の同意を求める提案がされ、次の方々の選任に同意しました。

藤原 芳洋氏（清哲町） 加賀爪安洋氏（清哲町） 名取 清嗣氏（清哲町）
水上 義仁氏（清哲町） 雨宮 高氏（清哲町） 藤巻 正朝氏（清哲町）
藤巻 榮久氏（清哲町）

【選挙】

次の各恩賜県有財産保護組合議員に欠員が生じたため補欠選挙を行い、指名推選により当選しました。

■御座石恩賜県有財産保護組合議員

小名木 博氏（本町）

■老別当恩賜県有財産保護組合議員

小名木 博氏（本町）

請願

☆立憲主義を堅持し、憲法9条を遵守し、戦争法である「安全保障関連法」の廃止を求める請願〔請願第28-1号〕

□提出者：戦争法の廃止をめざす韮崎アピールの会

☆国民健康保険税の引き下げを求める請願〔請願第28-2号〕

□提出者：進歩と革新をめざす韮崎の会

請願第28-1号は総務教育常任委員会で、請願第28-2号は市民生活常任委員会でそれぞれ審査し、本会議において、委員長から委員会での審査経過及び結果について報告された後、採決の前に請願第28-1号は賛成の立場、反対の立場から1名ずつ、請願第28-2号は賛成の立場から1名、反対の立場から2名の議員がそれぞれ討論を行い、採決の結果、両請願は不採択と決しました。

平成28年 第1回定例会議決結果一覧表

賛否のあった議案

○：賛成 ●：反対（森本由美子議長を除く）

| 議案番号 | 件名 | 金井洋介 | 木内吉英 | 小沢栄一 | 内藤正之 | 渡辺吉基 | 浅川裕康 | 守屋久 | 宮川文憲 | 高添秀明 | 清水康雄 | 山本雄次 | 田原一孝 | 西野賢一 | 小林伸吉 | 奥石賢一 | 一木長博 | 小林恵理子 | 結果 | |
|----------|--|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|----|-----|
| 議案第12号 | 平成28年度一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第13号 | 平成28年度国民健康保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第28号 | 職員の降給に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 請願第28-1号 | 立憲主義を堅持し、憲法9条を遵守し、戦争法である「安全保障関連法」の廃止を求める請願 | ● | ○ | ● | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ● | ○ | ○ | 不採択 |
| 請願第28-2号 | 国民健康保険税の引き下げを求める請願 | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | ○ | ○ | 不採択 |

全会一致の議案

| 議案番号 | 件名 | 結果 | 議案番号 | 件名 | 結果 |
|--------|--|----|--------|--|----|
| 議案第1号 | 平成27年度一般会計補正予算（第4号） | 可決 | 議案第32号 | 消防団員等公務災害補償条例及び議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第2号 | 平成27年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号） | 可決 | 議案第33号 | 市の財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第3号 | 平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） | 可決 | 議案第34号 | 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例 | 可決 |
| 議案第4号 | 平成27年度簡易水道特別会計補正予算（第1号） | 可決 | 議案第35号 | 重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第5号 | 平成27年度下水道事業特別会計補正予算（第3号） | 可決 | 議案第36号 | 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第6号 | 平成27年度介護保険特別会計補正予算（第3号） | 可決 | 議案第37号 | 勤労青年センター設置、管理及び使用料条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第7号 | 平成27年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号） | 可決 | 議案第38号 | 企業立地支援条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 議案第8号 | 平成27年度国民健康保険葦崎市立病院事業会計補正予算（第2号） | 可決 | 議案第39号 | 山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更について | 可決 |
| 議案第9号 | 平成27年度第一鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号） | 可決 | 議案第40号 | 市道の路線廃止について | 可決 |
| 議案第10号 | 平成27年度旭山恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号） | 可決 | 議案第41号 | 市道の路線認定について | 可決 |
| 議案第11号 | 平成27年度青木御座石財産区特別会計補正予算（第1号） | 可決 | 議案第42号 | 公の施設の指定管理者の指定について | 可決 |
| 議案第14号 | 平成28年度後期高齢者医療特別会計予算 | 可決 | 議案第43号 | 負担付寄附の受納について | 可決 |
| 議案第15号 | 平成28年度簡易水道特別会計予算 | 可決 | 議案第44号 | 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて | 同意 |
| 議案第16号 | 平成28年度下水道事業特別会計予算 | 可決 | 議案第45号 | 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて | 同意 |
| 議案第17号 | 平成28年度介護保険特別会計予算 | 可決 | 議案第46号 | 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて | 同意 |
| 議案第18号 | 平成28年度介護サービス事業特別会計予算 | 可決 | 議案第47号 | 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて | 同意 |
| 議案第19号 | 平成28年度国民健康保険葦崎市立病院事業会計予算 | 可決 | 議案第48号 | 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて | 同意 |
| 議案第20号 | 平成28年度水道事業会計予算 | 可決 | 議案第49号 | 青木御座石財産区管理委員会委員の選任について | 同意 |
| 議案第21号 | 平成28年度第一鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計予算 | 可決 | 議 第1号 | 議会会議規則の一部を改正する規則 | 可決 |
| 議案第22号 | 平成28年度第二鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計予算 | 可決 | 議 第2号 | 特別委員会の設置について | 可決 |
| 議案第23号 | 平成28年度第二御座石前山恩賜林保護財産区特別会計予算 | 可決 | 選挙第1号 | 御座石恩賜県有財産保護組合議員の補欠選挙について | 当選 |
| 議案第24号 | 平成28年度旭山恩賜林保護財産区特別会計予算 | 可決 | 選挙第2号 | 老別当恩賜県有財産保護組合議員の補欠選挙について | 当選 |
| 議案第25号 | 平成28年度八森恩賜林保護財産区特別会計予算 | 可決 | | | |
| 議案第26号 | 平成28年度戸沢日影半腹裾恩賜林保護財産区特別会計予算 | 可決 | | | |
| 議案第27号 | 平成28年度青木御座石財産区特別会計予算 | 可決 | | | |
| 議案第29号 | 行政不服審査会条例 | 可決 | | | |
| 議案第30号 | 職員の旅費に関する条例等の一部を改正する条例 | 可決 | | | |
| 議案第31号 | 行政不服審査法及び行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の公布に伴う関係条例の整理等に関する条例 | 可決 | | | |

平成28年 第1回臨時会議決結果一覧表

賛否のあった議案

○：賛成 ●：反対 欠：欠席（森本由美子議長を除く）

| 議案番号 | 件名 | 金井洋介 | 木内吉英 | 小沢栄一 | 内藤正之 | 渡辺吉基 | 浅川裕康 | 守屋久 | 宮川文憲 | 高添秀明 | 清水康雄 | 山本雄次 | 田原一孝 | 西野賢一 | 小林伸吉 | 奥石賢一 | 一木長博 | 小林恵理子 | 結果 | |
|-------|--|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|----|----|
| 報告第5号 | 専決処分の承認を求めることについて（国民健康保険税条例の一部を改正する条例） | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 承認 |

全会一致の議案

| 議案番号 | 件名 | 結果 | 議案番号 | 件名 | 結果 |
|-------|--|----|--------|---|----|
| 報告第1号 | 専決処分の承認を求めることについて（平成27年度一般会計補正予算（第5号）） | 承認 | 報告第7号 | 専決処分の承認を求めることについて（行政不服審査法及び行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の公布に伴う関係条例の整理等に関する条例の一部を改正する条例） | 承認 |
| 報告第2号 | 専決処分の承認を求めることについて（職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例） | 承認 | 報告第8号 | 平成27年度一般会計予算繰越明許費に係る歳出予算繰越額の報告について | 了承 |
| 報告第3号 | 専決処分の承認を求めることについて（職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例） | 承認 | 報告第9号 | 平成27年度簡易水道特別会計歳出予算に係る事故繰越額の報告について | 了承 |
| 報告第4号 | 専決処分の承認を求めることについて（職員給与と条例の一部を改正する条例） | 承認 | 報告第10号 | 平成27年度国民健康保険葦崎市立病院事業会計歳出予算に係る事故繰越額の報告について | 了承 |
| 報告第6号 | 専決処分の承認を求めることについて（税条例等の一部を改正する条例） | 承認 | 議案第50号 | 市立図書館条例の一部を改正する条例 | 可決 |

平成28年

第1回

臨時会

第1回臨時会（5月）は、5月6日に招集され会期を1日として開催しました。

専決処分した予算や歳出予算の繰越、条例の一部改正など10件について報告を受け、続いて市立図書館条例の一部を改正する条例について審議しました。

審議した条例等及び採決の結果は、4頁の「平成28年第1回臨時会議決結果一覧表」をご覧ください。

【条例の一部改正】

■市立図書館条例の一部を改正する条例 〔議案第50号〕

大村智名誉市民の功績を称え、韮崎市立図書館に大村名誉市民の姓を冠し、その偉業を後世に残すと共に、時代を担う若者が学問に関心を持つことができる特色ある図書館にするため、市長から市立図書館の名称を「韮崎市立大村記念図書館」に改正することが提案され、全会一致で可決しました。

【表彰の伝達】

本臨時会の冒頭で、表彰状を伝達しました。

■山梨県市議会議長会 表彰状

- ・20年以上市議会議員であるもの

小林 恵理子 議員

委員会活動報告

各議案番号の件名については、4頁「平成28年 第1回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

総務教育常任委員会

■平成28年3月11日 委員会開催

〔主な審査事項〕

- 議案第28号、第29号、第30号、第31号、第32号、第33号、第34号、第39号、第42号及び第43号
- ・右の10議案は、全員一致で可決すべきものとすることに決しました。

□請願第28-1号

- ・請願提出者から説明を受け、質疑後、委員全員から発言があり、「安全保障関連法は抑止力の強化となる・国際社会の中でも協調性が必要」「新3要件で自衛隊の行動範囲は制限されている」「安全保障関連法は明らかに違憲・国民の多くを不安にしている」「日本は武力の抑止でなく、外交の力で国際貢献すべき」など賛成、反対双方の意見が出され、採決の結果、賛成少数（委員長を除き、賛成2、反対3）で否決すべきものとすることに決しました。

■平成28年5月17日 現地視察調査

□ 韮崎小学校・韮崎北東小学校・韮崎西中学校

- ・今回は右の3校で学校教職員と意見交換しました。学校現場、保護者、行政、関係機関での情報の受発信、共有が非常に重要なことから、学校からも一層の連携を働きかけていくことを確認しました。

市民生活常任委員会

■平成28年3月11日 委員会開催

〔主な審査事項〕

□議案第35号及び第36号

- ・右の2議案は、全員一致で可決すべきものとすることに決しました。

□請願第28-2号

- ・請願提出者から説明を受け、質疑後、委員から国保世帯の所得水準や基金の運用、医療費の動向等について意見が出され議論を交わしました。採決の結果、賛成少数（委員長を除き、賛成2、反対3）で否決すべきものとすることに決しました。

産業建設常任委員会

■平成28年3月11日 委員会開催

〔主な審査事項〕

- 議案第37号、第38号、第40号及び第42号
- ・右の4議案は、全員一致で可決すべきものとすることに決しました。

保育園再編整備に関する調査特別委員会

■平成28年4月22日 委員会開催

- ・同日、第1回調査特別委員会を開催しました。まず主管課から市立保育園の現状や今後のあり方の検討方針について説明を受け、質疑を交わした後、本委員会の今後の活動に係り、各委員の担当する調査業務の分担や活動スケジュールを協議しました。韮崎東保育園、韮崎西保育園については、施設整備、運営形態などについて地域の理解、協力をいただき、子どもや保護者が安心して通園できる保育等の環境を整えていくことが大切なので、広く意見を聴取しながら調査・研究を進めていきます。



一木 長博 議員
[荏誠クラブ]

平成28年度当初予算編成について

質問 一般会計予算額は138億2,100万円

であり、対前年度比7億5,100万円(5.7%)の増額です。一方、特別会計13会計の総額は7億9,565万円(5.374万円(0.7%)増額、企業会計2会計の総額は43億331万円(4.551万円(1.0%)の減額であり、対前年度比ほぼ横這いです。

質問 一般会計予算としては過去2番目の大規模編成ですが、予算編成にあたっての考えについて、順次伺います。

質問 1. 国の「トッププランナー方式」の導入による本市への影響について

答 市長 トッププランナー方式とは地方公共団体の業務改革のうち、単位費用に計上されている23業務について、歳出効率

化に向けた業務改革で他団体のモデルとなるようなものを算定に反映させることで、明年度は16業務について見直すなど、段階的に反映していく予定となっております。本市への影響は具体的な算定費用が提示されていないため、対前年度と同程度の普通交付税を見込んでいます。

質問 2. ふるさと納税制度への対応強化、市有財産の有効活用について

答 市長 ふるさと納税は、お礼の特産品の充実により5千万円を見込み、市有財産の有効活用では、不用・廃止による跡地の処分等により自主財源確保に努めていきます。

質問 3. 経常的経費の削減の取り組みについて

答 市長 各課に3%のシーリング枠を設け、全ての事務事業において見直しに努めました。

質問 4. 特定財源の確保や交付税措置上有利な市債等の借入について

答 市長 特定財源確保は重要であり、甘利小の大規模改修事業を国の補正予算の補助採択を受け、

化に向けた業務改革で他団体のモデルとなるようなものを算定に反映させることで、明年度は16業務について見直すなど、段階的に反映していく予定となっております。本市への影響は具体的な算定費用が提示されていないため、対前年度と同程度の普通交付税を見込んでいます。

質問 5. 市債残高が増え、基金残高が減少。この課題への取り組みについて

答 市長 市債が増加することは将来世代への負担増ですが、これまでの市債残高の増加要因は、普通交付税の代替財源である臨時財政対策債の影響であり、実質公債費率は平成18年度以降減少傾向です。未来を見据えたまちづくりへの投資につ

いては、市債残高や実質公債比率の状況など注視してまいります。また財政調整基金残高は、行政改革等の推進により、減少傾向を最小限に食い止めていきたいと考えています。



興石 賢一 議員
[協伸クラブ]

市長の政治姿勢について

質問 市長就任以来、早

1年4カ月になろうとしています。政治経験はなくても民間企業の経験者、出身ということで、大きな期待をもつ市民は多いと思います。市長の市民の目線の捉え方について、見解を伺います。

答 市長 私は、市長就任以来、変わることなく常に市民目線の活力あるまちづくりを基本に、市民福祉の向上を念頭に市政にあたっており、今後ともその政治姿勢を貫く所存です。

質問 指定管理者の1つに東京エレクトロンが、文化ホールがあります。昨年12月の市議会定例会で、現在まで管理を行っている武田の里文化振興

協会から株式会社ケイミックスに決定したい旨の議案が提出されましたが、採決の結果は、賛成少数により否決となりました。指定管理を託す市と受ける振興協会とが意思疎通を図りながら、利用者へのサービスの向上をすべきと思いますが、見解を求めます。

協会から株式会社ケイミックスに決定したい旨の議案が提出されましたが、採決の結果は、賛成少数により否決となりました。指定管理を託す市と受ける振興協会とが意思疎通を図りながら、利用者へのサービスの向上をすべきと思いますが、見解を求めます。

答 市長 東京エレクトロンが文化ホールの指定管理については、施設の効用を最大限に発揮させることもその管理に係る経費の縮減が図られることなどを考慮して、昨年12月の市議会定例会に提出したところで、議会の結果を真摯に受け止め、引き続き市民目線による市民サービスの向上に努めていきます。

質問 保育園の集約により、最終的に4園にまとめる案が発表されていますが、第1園のすずらん保育園は、田野・旭・竜岡の3園が集約されたものです。開園して間もなく1年になろうとしていますが、一部の保護者の

方から園児の数が多くて保育士さんの手が回らないとの話も聞かれています。より良い保育環境をつくるには、余り人数では心配です。コストだけで教育を考えるのではなく、必要な所にはお金もかけるべきです。

答 市長 すずらん保育園については、定員が210名と大規模ですが、厚生労働省が定めた配置を満たしており園児の中には手のかかる子どもいることから加配保育士を配置するなど、その対応に努めています。

質問 また市立保育園の民営化については、荏城西保育園・荏崎東保育園の民営化を考えており、財政的な負担や施設の老朽化を考慮すると早期に民営化にしたいと考えていますが、市議会のご意見も拝聴しながら、保護者や地域のご理解をいただき環境が整ったところで実施していきたいと考えています。

質問 指定管理者の1つに東京エレクトロンが、文化ホールがあります。昨年12月の市議会定例会で、現在まで管理を行っている武田の里文化振興

協会から株式会社ケイミックスに決定したい旨の議案が提出されましたが、採決の結果は、賛成少数により否決となりました。指定管理を託す市と受ける振興協会とが意思疎通を図りながら、利用者へのサービスの向上をすべきと思いますが、見解を求めます。

代表質問

代表質問

市の指定管理者制度について

質問 指定管理者の1つに東京エレクトロンが、文化ホールがあります。昨年12月の市議会定例会で、現在まで管理を行っている武田の里文化振興

市立保育園について

質問 保育園の集約により、最終的に4園にまとめる案が発表されていますが、第1園のすずらん保育園は、田野・旭・竜岡の3園が集約されたものです。開園して間もなく1年になろうとしていますが、一部の保護者の

方から園児の数が多くて保育士さんの手が回らないとの話も聞かれています。より良い保育環境をつくるには、余り人数では心配です。コストだけで教育を考えるのではなく、必要な所にはお金もかけるべきです。

代表質問



小林恵理子 議員
【日本共産党】

子どもの貧困対策 など子育て支援に ついて

質問 やまなし子どもの貧困対策推進計画（仮称）が策定されます。教育、生活、保護者の就労経済的支援など総合的に推進する計画で、市町村との連携・共同も行っていきます。

最近は子ども食堂の開催、学習支援、食料支援などNPO団体などの活動も盛んであり、県との連携・共同と民間団体との連携・支援も大切です。子どもの貧困対策にどう取り組んでいくのか伺います。

答 市長 従来の施策や生活困窮者自立支援施策に加え、県や関係機関の施策を注視していくとともに、関係部署及び活動している諸団体とも連携を図る中で、効果的な施策を検討していきます。

その他質問

- ◆まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ◆公共施設などの民間委託、民営化などについて
- ◆安全保障関連法（戦争法）問題について

中小企業・小規模 事業者振興基本条 例に基づく政策に ついて

質問 「葦崎市中小企業・小規模事業者振興基本条例」が制定され、具体化が求められます。中小企業の実態把握、関係機関との協力、中小企業の受注機会の拡大、小規模事業者への特段の配慮、条例の周知、協議会の設置、運営の具体化など、実効ある条例にしていけるための今後の取り組みと、条例をつくる際に採った業者アンケートをどう活かしていくのか伺います。

答 市長 アンケート結果をもとに、就職ガイダンス開催事業、飲食店方イドマップ作成事業、小規模事業者店舗等改修費補助金交付事業を新たに事業化しました。条例はホームページに掲載するほか、概要版を広報に掲載し周知に努めていきます。

す。また基本的な理念の実現や施策の実施状況を検証するための協議会を設置し、ご意見を伺いながら実効性ある条例の推進に努めていきます。

赤ワインの丘プロ ジェクトについて

質問 新予算には、赤ワインの丘プロジェクト推進事業費、実現化事業補助費、市道穂坂100号線拡幅費を計上しています。計画は、核となるワイナリー誘致、宿泊施設、売店など複合観光施設も含み、市は施設までの導線のインフラ整備等を目指すとしています。

南アルプス市の「完熟農園」の破綻で、市民から不安や疑問の声が出されています。事業の全体像や市の関与、必要予算、財源計画などを明らかにすべきです。

答 市長 赤ワインの丘プロジェクト実行委員会が策定した基本構想に基づき、立地を希望する企業に必要な行政手続きやインフラ整備に対応しています。全体的な予算、財源計画については、実行委員会での基本計画が未確定なため、現在お示しすることはできません。

代表質問



小林 伸吉 議員
【公明党】

妊娠から子育てま での支援について

質問 我が国の少子化は社会経済の根幹を揺るがしかねない課題となっています。本市においても児童人口の減少や出生数の減少に現れており、少子化が進んでいると言えます。

そうした中、国においては、子ども・子育て関連3法に基づく「子ども・子育て支援制度」を2015年4月から本格的に実施し、「子ども・子育て支援事業計画」の策定を市町村に義務付けています。妊娠から出産子育て支援まで切れ目ない子育て支援策として、子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ）の整備など、子ども・子育て支援制度に位置付けられている利用者支援事業への取り組みについて伺います。

その他質問

- ◆TPPと我が市の産業振興について
- ◆地方創生について

業の取り組みについては、母子保健型を選択して実施しています。保健福祉センターを相談支援の拠点として、保健師、助産師等により、妊娠届け時から相談を行い、母子支援プランを作成し、妊娠、出産、育児について継続した支援を行っています。また、乳幼児を持つ保護者の利用が多い子育て支援センターにおいても、情報提供や相談等に取り組んでいます。今後、さらに医療機関や子育てに関係する機関との連携を図り、切れ目ない支援に努めていきます。

質問 産後の子育てで6カ月から1年までの間が子育ての不安が高くなる傾向があると聞いています。本市では、このようなお母さんからの相談や赤ちゃん訪問などは、どのようにしているのか伺います。

答 保健課長 育児の相談については、育児に対

する一般的な疑問や不安心配事に対する妊産婦相談を週2回行っています。また、相談項目を設けて、視力や聴力等、身体的な事項を相談する育児相談や歯科相談及び臨床発達心理士による療育相談や心理言語相談も含めて、月に1回から2回行っています。新生児の訪問については、育児不安の解消や養育環境の把握を含めて、本市では4カ月健診の前までに保健師及び助産師が全件対応しているところです。

質問 国は幼児教育の無償化に大きな一歩を踏み出しました。年収や家庭の状況によりますが、保育所・幼稚園の保育料の負担軽減を図ることとしていきます。県でも本年4月から、要件がありますが第2子以降の保育料の無償化を発表しました。本市の4月以降の保育料についてはどのように考えているのか伺います。

答 市長 第2子の保育料無料化については、現状の保育料をベースに第1子の年齢制限をなくし、新たな県の制度をあわせて、第2子の保育料無料化を実施していきたいと考えています。

一般質問



守屋 久 議員
[荏誠クラブ]

ふるさと納税について

質問 故郷や応援したい自治体に寄附ができる「ふるさと納税」は、特産品など返礼品が贈られる点が好評となっておりますが、お礼の品ばかりに話題が集まることへの懸念もあり、人々に寄附金の使い道をもっと重視してもらいたいと働きかける自治体も増えていきます。本市の見解を伺います。

答 市長 今後も制度本来の趣旨も踏まえた中で、本市を継続して応援していただけるような取り組みを推進し、貴重な財源を獲得していきたいと考えています。

市立病院について

質問 病院事業が現状抱えている環境と今後の経営方針について伺います。
答 市長 医療収益の減収額の増については、新

患外来患者及び入院患者の減少、患者一人当たり診療単価の減少が要因であると認識しています。一方、医療費用等の増加については、退職給付引当金の計上義務化、消費税増税と

いった制度改正に伴うもののほか、オーダーリング更新経費が主な要因です。また本年4月の診療報酬は全体でマイナス改定となり、経営への影響が予想される中、救急受入体制の改善や他医療機関との連携強化による患者の獲得や、病床稼働率の向上による総患者数の増加、新規加算取得による入院診療単価の増額等により増加を図っていくこととしています。

釜無川河川公園について

質問 ヘリポート建設に伴い、その周辺の使用規制について伺います。

答 市長 釜無川河川公園の使用規制については、災害や人命救助など緊急時の体制強化のためヘリポートが整備されたことに伴い、自治体等による公益性の高い事業を除き、ヘリポートの運行に支障が懸念される場合、多目

的広場の使用ができなくなりました。バイク愛好家の集うイベントなどは影響を受けることにはなりますが、人命救助をはじめとする緊急時の体制保持のため、今後もヘリポートの運行を優先したいと考えています。

太陽光発電施設について

質問 県では規制の条例化には課題があり、防災や景観、地域の合意形成に配慮した適正導入を指導していくに留めていますが、本市において整備を規制する更なる条例制定について伺います。

答 市長 太陽光発電施設の普及に伴い、国内各地で地域社会と調整不足なまま事業が実施され、景観や防災、安全面での懸念が生じる事案もあることは認識しています。太陽光発電施設の設置に係る制限については、上位の関係法令や条例による更なる規制は困難ですが、「荏崎市景観条例」や県の「太陽光発電施設の適正導入ガイドライン」により、設置計画事業者に対し、各地域の実情を理解、尊重した事業を行うよう適切に指導していきます。



内藤 正之 議員
[荏誠クラブ]

市長就任後における感想について

質問 内藤市長が誕生し公人となられ、「チーム荏崎」として今日に至っていますが、就任後の率直な感想を伺います。

答 市長 市長職は、多岐にわたる幅広い知識とスピードリーな問題解決能力が要求され、そのうえ多忙を極める業務であり、これは想像以上でした。行政のイメージとしては「厳しい財政状況」を予想していましたが、それを上回る厳しさに直面しており、多様化している市民ニーズに添えていく困難さを感じています。また前例踏襲など保守的なイメージがありました。新たなことにチャレンジする気概を持った職員も多く、共に知恵を絞り課題の解決に向けて挑戦していく所存です。

平成27年度における市税の収入見込み等について

質問 市税の歳入予算の状況は、現年課税分、滞納繰越分、補正予算額を合わせて43億4,009万円となり、歳入総額の約32.5%を占めます。厳しい財政状況の中で、財源、税の重要性について所見を伺います。

答 市長 市税は本市の貴重な自主財源として、福祉・学校・道路等の社会基盤の整備を始めとした市民生活に密接に関連する事業等、市政運営には必要不可欠な財源であり、適正な課税及び収納に努めています。近年、本市の主要法人の一部県外移転等、厳しい状況ですが、他の法人は堅調を維持しており、税収の確保を図っています。

更なる市民サービスの向上策について

質問 本市の総人口を鑑みたと、職員数、議員数の妥当性についての実情は公表されているのでしょうか。県内他市と比較してどうなのか。また

市民一人当たりの行政サービス費用はどうかにかについて伺います。
答 市長 議員数の妥当性については実情は公表されていません。各自治体で様々な状況を踏まえた中で、議員数が定められていると推察します。職員数は、地方公共団体定員管理調査に基づき毎年公表されており、県内13市の比較では5番目に少ない職員数です。市民一人当たりの行政サービス費用は、平成25年度歳出決算額で見ると、県内平均や全国的な類似団体の平均額との比較ではそれぞれ少ない状況です。

荏崎市独自の教育の充実策について

質問 人間の根幹をなす「心」を育み、子どもの頃から身に付けていくための独自の授業などを行っているのか伺います。

答 教育長 心を育てる教育は家庭や地域社会との連携も大切であり、各学校が保護者や地域の方々へ道徳授業を公開し、懇談会も開催しています。本年度は大村博士の「人のためになることをする」という生き方に学ぶ取り組みも行っていきます。



金井 洋介 議員
[誼誠クラブ]

事務事業評価について

質問 平成27年度の内部及び外部評価で共に全部改善との報告がされた4事業について、どのようにお考えでしょうか。

また、指定管理者が関わる事業は、行政と共に改善策を検討する必要があると考えます。連携についてお伺いします。

答弁市長 武田の里ウォーキング事業については、本市のPRに繋がるように大村智先生ゆかりの地など、市内を周遊するコースにリニューアルして開催します。遊休農地解消、福祉の日記念まつりサッカーフェスティバルの3事業については、改善に向けた検討策を講じています。

指定管理者との連携については、定期的に事業報告や運営協議会の開催、業務改善協議を行う、今後とも連携して

きます。
質問 各行政サービスの向上には携わる職員の使用感、改善意欲、向上心が必要だと考えます。職員が市民のために頑張っている姿を見せることで、市が元気に明るくなるはずで、職員の取り組みをもっと紹介されたらいかがでしょうか。

答弁企画財政課長 本市のフェイスブックで若手職員が工夫を凝らした取り組みを紹介しています。今後も行っている内容を広く市民に知っていただけるよう努力をしていきたいと思えます。

消防団について

質問 消防団は、地域に密着し住民の安全と安心を守る重要な役割を担っています。各分団の活動内容や、各部の地域に根ざした素晴らしい取り組みを広く市民に知っていただき、消防団を支える地域の更なる理解と協力が得られるように消防団の意向を踏まえ、活動の「見える化」、広報の推進に取り組みたいかがでしょうか。

答弁市長 広報について

は、市ホームページの消防団関連コンテンツの充実をはじめ、活動紹介も兼ねた団員募集チラシを回覧及び配布しています。各分団や各単位の活動報告は、消防団をより身近に感じる効果が期待されるので、消防団と検討していきます。

地域が関係する事柄の進捗状況について

質問 県道北原下條南副線の甘利小学校周辺の通路の整備状況について

答弁市長 地元から現道拡幅による歩道整備の要望をいただき、地元説明会を行いました。今後、県において詳細設計や用地測量等を行い、地権者との協議を行う予定と伺っています。

答弁建設課長 早期完成に向け県に要望し、市にできることは協力していきます。

質問 龍岡町下條東割地内を流れる鳴沢について

答弁市長 今後、県で実施する山地災害ハトローリ箇所と位置付け、状況を確認していきます。

答弁農林課長 市では圃場整備設計の中で適正な流量等の確保について要望をしていく考えです。



木内 吉英 議員
[協伸クラブ]

ニールを活用した取り組みについて

質問 本市のイメージキャラクター「ニール」は

昨年のゆるキャラグランプリで1、727体中41位、県内のキャラクターの中で1位となり、年々人気や知名度が上がってきています。そこで本市の広告塔であるニールの人気を活用した今後の取り組みについて伺います。

答弁市長 全国的にもニールの知名度が急上昇しており、本市の広告塔として欠かせない存在です。今後積極的にニールを活用し、本市のイメージアップと、更なる人気上昇に結びつくような施策を講じていきます。また

その他質問

- ◆中心市街地活性化について
- ・空き店舗対策について
- ・商店街賑い創出物品等の充実について

グッズの展開についても必要に応じて販売場所の見直しや新たなグッズの作成に取り組んでいきます。

赤ワインの丘プロジェクトについて

質問 平成26年度に構築された赤ワインの丘プロジェクトの関連インフラ整備に係り、市道穂坂101号線道路整備、市道穂坂12号線排水路整備について進捗状況を伺います。また赤ワインの丘を中心とした市内周遊観光について伺います。

答弁市長 同道路整備は昨年11月に、また同排水路整備は、昨年10月に詳細設計業務委託契約を結び、本年度中に設計を終了予定であり、明年度、工事に着手していきます。

また周遊観光については実行委員会内の観光開発部会で地域資源の有効かつ効果的な活用による、魅力ある観光施策のあり方について調査研究を行っていますので、ご意見を伺う中で周遊観光の推進に取り組んでいきます。



渡辺 吉基 議員
【日本共産党】

その他質問

- ◆高校3年生までの医療費助成の拡大について
- ◆国民健康保険税滞納世帯への資格証明書発行の改善について
- ◆穴山町三ツ石地区の産業廃棄物中間処理施設について

葦崎市国民健康保険税の引き下げについて

質問 平成26年度山梨県国保援護課発表の資料によると葦崎市の国保加入世帯の1世帯当たりの所得は、86万7,956円で、県内13市の中で1番低い所得となっています。所得に占める国保税の比率は20.1%で、13市の中で2番に高くなっています。葦崎市の平成28年度国保会計の基金保有額は3億9,501万円の見込みです。国保加入世帯は4,557世帯で、国保税を1世帯につき1万円引き下げるための財源は4,557万円です。これは基金保有額の12%にすぎません。国保税を1世帯あたり1万円引き下げて、市民の暮らしが少しでもよくなるようにすべきだと思います。見解を伺います。

葦崎市長 国民健康保険

年齢の方は、一月1回の受講を楽しみにしている。講師がわかりやすく教えてくれるのでなんとかついていける。普段は外出が億劫だが、パソコン教室だけは必ず参加しようと思つている。教室は継続してほしい。と話していました。多くの高齢者や市民の学びたいという声を受け止めて、市民交流センター内にパソコンを設置して教室が再開できるようにすべきと思います。見解を伺います。

市民交流センター内のパソコン撤去について

質問 今年2月5日の老壮大学の講座の冒頭に、市民交流センター会議室のパソコンが撤去されるので来年度からはパソコン教室は実施されないことが報告されました。老壮大学のパソコン教室は、初級、中級、上級の3コースに分かれ44人が受講していました。87歳の高

の加入者の多くは高齢者であることや医療の高度化等により、今後も医療費のさらなる増加が見込まれるで、現状では保険税の引き下げは考えていません。また、国民健康保険財政調整基金の取り扱いについては、国から指針が示されており、保険税の引き下げ等を行うための基金の取り崩しは、国保会計上適切でないと考えられています。

質問 早い時期にパソコンを整備する方向で検討してもらえないですか。

葦崎教育委員長 会議室

質問 今年2月5日の老壮大学の講座の冒頭に、市民交流センター会議室のパソコンが撤去されるので来年度からはパソコン教室は実施されないことが報告されました。老壮大学のパソコン教室は、初級、中級、上級の3コースに分かれ44人が受講していました。87歳の高

年齢の方は、一月1回の受講を楽しみにしている。講師がわかりやすく教えてくれるのでなんとかついていける。普段は外出が億劫だが、パソコン教室だけは必ず参加しようと思つている。教室は継続してほしい。と話していました。多くの高齢者や市民の学びたいという声を受け止めて、市民交流センター内にパソコンを設置して教室が再開できるようにすべきと思います。見解を伺います。



田原 一孝 議員
【進進クラブ】

その他質問

- ◆穂坂町の雪害について
- ◆葦崎東中学・すすらん保育園のグラウンド整備について
- ◆防犯灯のLED化について

人口減対策について

質問 今年2月に総務省が公表した国勢調査の速報値では、山梨県の人口は2015年10月1日時点で83万5,165人、5年前から約2万8千人の減、本市は3万672人です。人口減の要因は急速な少子高齢化や都市部への流出が大きな要因と考えますが、2015年の本市人口の自然減と社会減の状況は。

葦崎市長 具体的な内容

質問 若年女性20歳から39歳の都市部への流出を防ぐための施策は。

葦崎市長 既に本市では

質問 厚生労働省が発表した子ども貧困率(18歳未満の子どもとの割合)は、2012年時点で16.3%と過去最悪を更新しました。子どもの貧困は親の生活困窮の結果ですが、貧困の子どもの実態を把握することは困難です。親から子への貧困の連鎖を断ち切るためにも現状の把握が必要ですが、実態調査を今後どのようにしていくのか。また小中学校ではどのような指導と支援を考えているか。

質問 若年女性20歳から39歳の都市部への流出を防ぐための施策は。

葦崎市長 既に本市では

質問 厚生労働省が発表した子ども貧困率(18歳未満の子どもとの割合)は、2012年時点で16.3%と過去最悪を更新しました。子どもの貧困は親の生活困窮の結果ですが、貧困の子どもの実態を把握することは困難です。親から子への貧困の連鎖を断ち切るためにも現状の把握が必要ですが、実態調査を今後どのようにしていくのか。また小中学校ではどのような指導と支援を考えているか。

質問 厚生労働省が発表した子ども貧困率(18歳未満の子どもとの割合)は、2012年時点で16.3%と過去最悪を更新しました。子どもの貧困は親の生活困窮の結果ですが、貧困の子どもの実態を把握することは困難です。親から子への貧困の連鎖を断ち切るためにも現状の把握が必要ですが、実態調査を今後どのようにしていくのか。また小中学校ではどのような指導と支援を考えているか。

【トピック・ニュース】



5月10日、東京エレクトロン荊崎文化ホールで、本市主催の「大村智名誉市民のノーベル賞受賞をみんなで祝う会」が盛会に開催されました。大村先生もご出席くださり、皆さんと会話を交わすなどして、終始、楽しく有意義なお時間を過ごしていただけたことと思います。

先生が足を運ばれるところはどの場所でも感嘆の声が上がりますが、是非健康にご留意いただき、一層ご活躍されますことを私たち市民一同、先生の故郷荊崎から応援いたしております。

森本由美子議長は、4月26日埼玉県において開催された第82回関東市議会議長会定期総会において、平成28年度の副会長に選出されました。

関東市議会議長会は関東地域の1都6県の市区議会議長会で構成され、会長には栃木市議会議長、副会長には府中市議会議長、水戸市議会議長も選出されました。

総会のあいさつで森本議長は、山梨県市議会議長会の代表として、他県の市議会議長会と協力しながら活動していくことを申し上げました。

第82回関東市議会議長会 定期総会



編集後記

先月14日の夜、熊本、大分両県で発生しました非常に大きな地震で亡くなられた方に、心からご冥福をお祈りし、ご遺族にお悔やみを申し上げます。また被災されました皆様にお見舞いを申し上げます。現在も、避難先で大変困難な生活を余儀なくされており、全国各地で様々な形で支援に力を注いでおりますが、この非常な事態を力合わせて乗り越えていきますことを、心から願っております。本市議員も早期復旧を願ひ、九州市議会議長

会に今回の地震被害に対する義援金を送りました。本市は平成24年3月、減災力の強いまちづくりを宣言しました。自然災害から命を守り、大切な人たちのためにも、自主防災組織の強化と減災力を高めていく取り組みを実践していきましょう。

市議会だより編集委員会
 委員長 森本由美子
 副委員長 宮川 文憲
 委員 小林恵理子
 〃 〃 〃 〃
 〃 〃 〃 〃
 〃 〃 〃 〃
 守屋 久 高添 秀明 山本 雄次 興石 賢一

- 6月 9日 開会
諸報告
市長所信表明
- 20日 一般質問
- 21日 一般質問
- 22日 議案審議
財務常任委員会
- 23日 各常任委員会
- 27日 議案審議
委員会報告
閉会

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会において正式に決定されます。

※委員会の傍聴を希望する方は、事前に申込手続きが必要です。

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

6月定例会日程〈予定〉